【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成17年8月11日(2005.8.11)

【公開番号】特開2004-26844(P2004-26844A)
【公開日】平成16年1月29日(2004.1.29)
【年通号数】公開・登録公報2004-004
【出願番号】特願2003-309134(P2003-309134)
【国際特許分類第７版】
　Ａ６１Ｋ　47/36
　Ａ６１Ｋ　 9/06
　Ａ６１Ｐ　 3/02
【ＦＩ】
　Ａ６１Ｋ　47/36
　Ａ６１Ｋ　 9/06
　Ａ６１Ｐ　 3/02

【手続補正書】
【提出日】平成17年3月16日(2005.3.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　患者の腹壁と胃壁または腸壁とに跨って造設された瘻孔に挿入される栄養チューブに患者の体外において接続された容器から前記栄養チューブを経て患者の胃または腸の内部に前記容器の加圧によって投与される経腸栄養剤であって、
　粉末状の寒天を半固形化剤として液状化栄養剤に、水分２００ｍｌに対して１ｇの割合で添加することにより、形態が自然には変化せずに保持される形態保持性であって外部から当該経腸栄養剤に自然に作用する重力および大気圧に対抗して自身の初期の形態を維持しようとする性質を有する点と液体および流動体より高濃度で栄養成分を含有し得る点とに関しては固形物と共通するが、強制外力による形態の変化が固形物より容易である点に関しては液体および流動体と共通する半固形物として形成され、
　前記形態保持性が、患者の体内への当該経腸栄養剤の投与の前後を通じて維持されるとともに、当該経腸栄養剤が患者の胃または腸の内部に貯留する状態においてはその患者の体温によっては当該経腸栄養剤が液状化しないように、前記形態保持性が維持される経腸栄養剤。
【請求項２】
　請求項１に記載の経腸栄養剤を製造する方法であって、
　前記液状化栄養剤と前記半固形化剤との混合物をそれの液状化状態において前記容器と同じかまたはそれとは別の容器内に充填し、その充填状態で、前記同じ容器または別の容器内の混合物をその容器と一緒に冷却して前記混合物を半固形化することによって前記経腸栄養剤を製造する経腸栄養剤製造方法。
【請求項３】
　患者の体内に挿入される栄養チューブに患者の体外において接続された容器から前記栄養チューブを経て患者の胃または腸の内部に前記容器の加圧によって投与される経腸栄養剤であって、
　形態が自然には変化せずに保持される形態保持性を有する点と液体および流動体より高

濃度で栄養成分を含有し得る点とに関しては固形物と共通するが、強制外力による形態の変化が固形物より容易である点に関しては液体および流動体と共通する半固形物として形成され、

前記形態保持性が、患者の体内への当該経腸栄養剤の投与の前後を通じて維持されるとともに、当該経腸栄養剤が患者の体内に貯留する状態においてはその患者の体温によっては当該経腸栄養剤が液状化しないように、前記形態保持性が維持される経腸栄養剤。